

新生問屋町へ、一歩



KIMASSI

KANAZAWA

Vol.130
January

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

2018年1月

金沢問屋センターニュース

- 新年のごあいさつ
- 平成30年の経済見通し
- 成年男大いに語る
- 問×美2017展 開催
- わが社をPR
- 事務局だより

事務局だより INFORMATION

11月

●6日 理事会

1. 総務委員会より
 - (1) 出資金見合いの緊急融資について
2. 組合運営委員会より
 - (1) 町内一斉清掃について
 - (2) 外灯修繕及びESCO事業について
3. 厚生委員会より
 - (1) 第12回キマツシカップ・ボウリング(第36回商社対抗ボウリング大会)について
 - (2) インフルエンザ予防接種の実施について
4. 情報戦略委員会より
 - (1) 金沢市卸売業競争力強化支援事業について

第10回

石川県新人学童野球選手権大会 兼 協同組合金沢問屋センター旗争奪大会

七塚アカシア初優勝

当組合が協賛する県新人学童野球大会が11月3日(祝)・5日(日)、秋晴れのもと開催され、県内14ブロックの予選を勝ち抜いた、代表16チームにより熱戦が展開されました(会場:内川少年野球場ほか)。

決勝戦は、舟見ヶ丘少年野球クラブ(小松市)と七塚アカシア(かほく市)がそれぞれに初優勝をかけて対戦、接戦の末2-0で七塚アカシアが栄冠を勝ち取り、県内約120チームの頂点に輝きました。また閉会式では、当組合の高桑理事長が優勝メダルを優勝チームの選手一人ひとりに贈呈し、勝利を称えました。



優勝に輝いた七塚アカシア。

団地完成50周年記念の贈呈品(放送設備)等が、開会式で披露された。



5. 活性化委員会より

- (1) 問屋まちスタジオ関連 11月のイベントについて
 - (2) 学童野球報告
- ### 6. 青年部会より
- (1) 50周年記念式典
 - (2) 11月定例会 視察旅行

7. 事務局より

- (1) 日本財団「海と日本プロジェクトinいしかわ」について

●11日~19日 問×美2017展



問屋まちスタジオにて。

●28日 インフルエンザ予防接種 287名受診

12月

●4日 理事会

1. 総務委員会より
 - (1) 中間決算について
 - (2) 新年祭について
 - (3) 新年互礼会について
 - (4) 生活習慣病予防健診について
 - (5) 賃貸先候補について
 - (6) 当組合駐車場の売却等について
 2. 組合運営委員会より
 - (1) 金沢市ごみ収集有料化について
 3. 厚生委員会より
 - (1) 第12回キマツシカップ・ボウリング大会(第36回商社対抗ボウリング大会)結果報告
 - (2) インフルエンザ予防接種について
 4. 情報戦略委員会より
 - (1) 金沢市卸売業競争力強化支援事業について
 - (2) 広報誌第130号の発行について
 5. 活性化委員会より
 - (1) 11月のイベントについて実績報告
 - (2) 問屋まちプロジェクト
 - (3) 講演会開催
 6. 青年部会より
 - (1) 11月定例会 視察旅行
 - (2) 1月定例会
 7. 事務局より
 - (1) 事務局の年末年始について
- 4日 インフルエンザ予防接種 219名受診
●13日 インフルエンザ予防接種 260名受診
●21日 インフルエンザ予防接種 115名受診

結果報告

第12回キマツシカップ・ボウリング大会

日時/11月7日(火)
会場/マンボウ金沢
参加/22社38チーム(男性71名 女性43名)

【団体の部】 優勝 富木医療器(株)B
準優勝 (株)シキケミカル
第3位 富木医療器(株)A



団体優勝 富木医療器(株)B



男子優勝 加藤 拓也 女子優勝 山本 文子
泰和ゴム興業(株) (株)シキケミカル

編集後記

平成30年、新しい年がスタートしました。本年の干支の「戌」とくれば、いろはかるたの「戌も歩けば棒にあたる」が思い浮かびます。かるたの絵柄から想像するには、よそ見をしていると電柱にぶつかってしまうので注意して歩きなさいという単純な意味かと思っておりました。しかし今回、このことわざには意外と深い意味があることを知りました。

「物事をしようとする者は思いがけない災難にあう」という戒めと、「じっとしていないで何でもいからやってみれば思わぬ幸運にあう」との相反する二つの意味合いがあるようです。由来や解釈は色々ありますが、失敗や苦難を恐れることなく、成年の本年はアクティブに活動して公私共々幸運を掴みたいと思っています。(M.O)



新年のごあいさつ

協同組合金沢問屋センター理事長 **高桑 幸一**

皆様、新年明けましておめでとうございます。平成30年の新春を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。



問屋町ブランドをさらに磨いていきたいと高桑理事長。

厳しい局面を経て 組合員は増加の傾向

本日、ここに、協同組合金沢問屋センターの平成30年新年互礼会を開催いたしましたところ、ご来賓の皆様におかれましては、大変ご多忙中にもかかわらずご臨席を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。また、組合員並びに関連企業の皆様には多数のご出席を頂き、誠にありがとうございます。

当組合はお陰様を持ちまして、昨年、完成50周年に関する式典をはじめ記念事業など諸事業を無事成功裏に終了することが出来ました。これもひとえに国や石川県、金沢市をはじめ関係各位の絶大なご支援・指導によるものと、改めて甚大なる敬意と感謝を申し上げます。

50年の歴史の間に、完成当初の高度成長に反映された右肩上がりの順調な時代から、後半には、流通業の変革に伴い卸売業にとつて厳しい状況へと移り変わりました。そのため、組合員の減少も余儀なくされ、センター内も空き店舗が目立つた厳しい局面もありました。しかしこの5年の間に、15社の企業の方々が問屋町に進出をされています(現在の組合員107社)。また、準組合員企業の加入もあり、そのお陰で空き店舗もほぼ解消され、近年、企業数は増加に転じています。そして何より喜ばしいのは、進出の都度店舗等のリニューアルがなされ、「きれいな街づくり」につながってきていることです。

51年目の今年を 新生問屋町への第一歩に

完成50周年記念のスローガンとして「街力発信」を掲げました。今後は、歴史ある問屋町のこれまでの歩みを踏まえながら、新たな発展的な街づくりを進めていかなければなりません。完成50周年を新時代への第一歩と捉え、将来につながる街づくりなどの課題に取り組み、次世代の更なる繁栄を念願するところでございます。

組合員の皆様におかれましては、建物の老朽化や手狭になったことによる移転、建て替え対策、人手不足に伴うリクルート、人材育成、そして事業承継など様々な課題を抱えておられます。また青年部会からは、昨年10月に行われた完成50周年記念式典で、将来に向けての提言をいくつか頂きました。



会場のそこかしこで笑顔の会話が。

約160名参加のもと、新年互礼会・懇親会が開催された(1月4日)。



平成30年の経済見通し

消費の緩やかな回復、 建設投資等が景気を下支え 懸念されるのは人手不足の影響



金沢信用金庫問屋町支店 支店長 **松崎 隆明**

新年あけましておめでとうございます。平成30年の新春を迎え、皆さまに謹んでお祝い申し上げますとともに、旧年中賜りましたご厚情に対し心より御礼申し上げます。

平成29年の振り返り

昨年1月20日をもって第45代アメリカ合衆国大統領にドナルド・トランプ氏が就任し、アメリカ第一主義を掲げました。米国金融市場の受け止めは複雑でありましたが、就任当日のダウ平均は前日比94・85ドル高で終えました。新大統領が就任した当日にダウ平均が値を上げたのは1961年1月20日に就任したケネディ大統領以来だそうです。トランプ氏の経済政策への期待の表れだと思われま

す。さて、日本経済の経済財政運営は引き続き経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、「名目GDP600兆円経済の実現と平成32年度の財政健全化目標達成の双方の実現を目指す」であります。

経済状況については、6月期の実質GDPは6四半期連続のプラス成長となりました。個人消費、住宅投資、設備投資の国内民需がいずれも高い伸びを示したことに加え、公共投資も急拡大するなど内需の堅調さが際立ちました。

一方、輸出の増勢が一服する中、国内の生産回復などを背景に輸入が高い伸びを維持したことで、外需の実質GDPに対する寄与度は6四半期ぶりにマイナスに転じたことから、景気が着実に底堅さを増しながら、外需から内需へと移しつつあることが伺える状況となりました。

この間の株価や為替に目を向けると、大発会で日経平均株価の終値は1万9594円16銭(前日比+479円79銭)で始まり、6月2日には日経平均株価の終値は2万1777円28銭と、およそ1年半ぶりに2万円の大台を突破しました。

為替相場は、3月に1ドル115円台までドル高円安が進みましたが、トランプ政権の政策運営に対する不透明感からドル売り優勢に転じました。地政学リスクの高まりも円買い材料となりました。米軍によるシリアへのミサイル攻撃や北朝鮮情勢の緊迫化などから、4月11日の

海外市場では1ドル110円を割り込みました。トランプ大統領によるドル高けん制発言が報じられた4月13日には1ドル108円台まで円高が進みましたが、その後は地政学リスクが和らいだことや、フランス大統領選で中道系のマクロン氏が極右のルペン氏を抑えて勝利したこと、安心感が広がり、5月上旬には1ドル114円台までドルが買い戻されました。こうしたなか6月14日のFOMC(米連邦公開市場委員会)で、今年2回目の利上げが決定されましたが、当面の追加利上げのペースに変化はないとの見方から、ドルを買う動きは限定的に留まりました。ただ、6月27日にECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁が、量的緩和の縮小を示唆したことをきっかけに欧米の長期金利が上昇し、低位で推移する日本との金利差の拡大を受けて、相場の流れは円売り方向に傾きました。

7月以降の日本経済についても、内需と外需のバランスの取れた形で景気回復が続ぎ、10月には日経平均株価が13日連続での上昇とし、1988年2月以来、29年8か月振りの連騰を記録しました。為替相場においても、北朝鮮情勢の緊迫化に伴うリスクオフの動きも根強く、9月8日には1ドル107円台まで円高ドル安が進んだものの、10月後半には一時1ドル114円までドルが買われ、以降もドル堅調の相場が続きました。

日本を含めほとんどの国で前年を上回る成長率で終わった年でありました。

平成30年の見通し

まず、日本経済に大きな影響を与える米国経済については、主な経済政策であるインフラ投資や大型減税が実現されれば景気の下支えとなり、米国経済は息の長い拡大を続けるのではないでしょう。リスクとすれば、①通商摩擦の激化②FRBの金融引き締めに伴う市場の混乱③中国など新興国の成長力の低下等による世界経済の下振れ④地政学的なイベントリスクなどが挙げられるところですが、総体的には前年並みの伸びが見込まれると予想します。

米国経済の見通しを受け、平成30年の日本経済については引き続き緩やかな回復傾向が続くのではと思われま

す。慢性的な人手不足状況が続くなか、悪天候など何らかの要因で一時的に景気が弱含んでも、企業が雇用を直ちに調整する可能性は低いと思われま

す。このため、雇用所得環境の堅調は簡単には損なわれず、それが消費の緩やかな回復傾向を通じ、景気を下支えすると見られます。消費と並ぶ民間需要の二本柱の一つである設備投資についても、少なくとも平成30年中は、東京オリンピックを前にホテルなどの宿泊施設の建設投資等が下支えとなると思われま

す。また、内外ともに超重要なイベントは見出しにくい状況でもあり、「ドル高円安」を受け、日本経済は概ね好調と見られるのではないでしょう

か。

最後に地元石川県の景況ですが、平成27年3月の北陸新幹線開業から3年近くが経過しますが、引き続き金沢への観光は賑わいを保ち、また金沢港へのクルーズ船の増加が期待できるなど、着実に回復を続けていくことが期待できるのではないでしょう

か。ただし、人手不足に伴う企業活動への影響について留意する必要があります

と見られます。私ども金沢信用金庫も組合員の皆さまと共に地域の発展に向け努力してまいります。

最後になりますが、年頭にあたり、皆さま方ますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げますとともに、本年も昨年同様にご指導賜りますようお願い申し上げます。

今一度、「利他の心」を



株式会社ヨシハラ
代表取締役社長
越原 寿朗

新年あけましておめでとござい
ます。広報誌をよく読んでいらっしや
る方は「新年早々またこいつか」と
思われるかもしれませんが、立場上
たまたまお役目が続いただけのこと
でございまして、「了承頂きたく存
じます」。

2016年に小池都知事が都民
ファーストの会を立ち上げて以来、
2017年の流行語にも「ノミネート
された「〇ファースト」という言葉
をよく耳にします。トランプ大統領
が唱えた「アメリカファースト」は、
その筆頭だったように思います。こ

戌年 男大いに語る



はじめれば、はじめられます

新年あけましておめでとござい
ます。問屋センターの皆様には平素
より大変お世話になりました。誠にあ
りがとございませう。この場をお借
りして御礼申し上げます。

さて、新しい年を迎え晴れ晴れと
した気持ちでスタートされたことと
存じます。私からは「見えるものと
見えないもの」「なんのために生き
る」を少しお話ししたいと思います。
「見えるもの」と見えないもの」
私達は仕事や生命維持活動におい
て毎日いろいろなことを見たり聞いたり
します。その時には、目に見える

ものとその裏に見えないものがあ
ります。

例えば家庭での食事。見えるのは
おいしそうに盛り付けられた料理、
見えないのはその食材を育ててく
ださった農家さんや漁師さん、また自
然世界もその一端でありませう。
もちろん流通業者や小売業者、そし
て料理を作ってくれたお母さんの腕
もその見えない世界です。「目に見
えないところまで気が付くこと、そ
こに想いを馳せること、そして感謝
の気持ち」。目先ばかりみていては
長期の展望は見えてきません。目に
見えない世界、目に見える現実を直
視して何をどう、どうやって、どの
くらい、将来に向かって舵を切るか

は我々経営者の手腕にかかってきま
す。その行動には想いが宿ります。
どんな想いで活動するか、その心の
在り方もこれからの企業経営には必
須でしょう。

「なんのために生きる」
世の中、ますます高度で高速な情
報伝達手段、精細な画像、映像、情
報があふれています。いま世界はま
ます混沌として、不安や恐怖、憎
しみや報復の連鎖が増大していま
す。地球上のあちこちで争いが絶え
ず、悲しい事件が次々と発生し、人々
の心はますます深く一方です。生き
るための軸も見えず、右往左往して
いるのがいまの時代なのだと感じて
も過言ではないでしょう。こんな

先して主導し尽力してもらわなけれ
ばなりません。私たちが一般人も他
人事と全権委任し丸投げすることは
得策でないと考えます。多少の相対
かなり我慢はしなければなりません
が、目先の利益を優先するのではなく、
「他によかれし」の精神「利他の心」を
持ち続けることが、世界平和への第
一歩ではないでしょうか。中東を中
心とした宗教観の相違による争いも
根本は陣取り合戦であって、互いが
利他の心を持ち合えば時間はかかっ
ても解決するものだと思っています。
新年早々、大風呂敷を掛け綺麗事
を吐いてしまいました。言うは易し
で実践は難しいですが、4回目の年
男を迎えた本年、今一度「利他の心」
を胸に刻み込み、これからも会社の
発展、社会貢献に奮励して参ります。

時、我々は歴史、世界的な偉人、先
人に学ぶことが重要なのではないで
しょうか。どのように生きるかは
各々の「なんのために」の考えに宿る
ところが多いでしょう。しかし素晴
らしい人生を歩むには尊敬する人を見
つけて、少しでも近づきたいと努
力を重ねることが一番の近道だと思
います。

新しい一年の始まりは未来へのス
タートです。「今年もよい一年にな
りました」と過去形でスタートする
と、よい一年が過ごせると確信して
います。みなさま、今年も一年どう
ぞよろしくお願ひ申し上げます。
最後になりましたが私の好きなわ
かりやすい言葉で締めくくりたいと
思います。
「はじめれば、はじめられます」



丸六株式会社
代表取締役社長
篠原 淳

問×美2017展開催

「おこし絵茶室で新しい問屋まちスタジオと 工芸建築を考えるPart2」

11月11日(土)～19日(日)、問屋まちス
タジオにおいて「問×美2017」展が開
催されました。

今回は、昨年も展示した国宝「待庵」の
おこし絵をもとに再現した茶室を分解し
て用い、「問屋」と芸術「人」とひと「工芸」と
建築の3つの対話が融合する場としまし
た。茶室や周りの空間には、石川県内の
アーティストや工芸作家8名による、問屋
町の企業の素材や技術を取り入れた作品
が展示されて
いました。

金沢問屋セ
ンター完成50
周年記念にち
なみ、漆と金
箔で仕上げた
金色のオブジ
エが茶室中心
に飾られ、ポ
ルトが刺さっ
た茶釜、配管



オープニングイベントでは山本宗重裏千家茶
道教場主宰の茶会が行われた。

素材を型に制作されたお茶碗などの茶道
具のほか、ネーム刺繍の技術を取り入れ
て舞台美術作家が制作したランプなどが
展示され、来場された方々は、ここ問屋
町にしかないアートと企業のコラボ作品の
説明に興味深く
耳を傾けていま
した。

最終日には、
茶会やチエロの
演奏会なども催
され、多くの皆
様にお楽しみ頂
き盛況のうちに
閉幕しました。

※待庵：山崎の合戦の際、秀吉が千利休を陣中に
招いて作らせたといわれる茶室。寺の軒を借り雨
戸の戸板を立てた仮設の2畳がその原型と言わ
れている。



センター完成50周年に因んだオブジェ

製品化を視野に制作した
刺繍ランプ

金沢市卸売業競争力 強化支援事業

セミナー内容が さらに充実!

昨年度までの「金沢市卸売業経
営革新支援事業」が、今年度から
「金沢市卸売業競争力強化支援事
業」と名称が変わって内容も更に
バージョンアップ。その制度を
利用して、当組合では今年度も
セミナーを開催しています。
先日行ったセミナーでは、コ
ンサルティングを公開するという
従来にならぬ手法で参加者から
大変好評でした。来月以降もセ
ミナーを開催しますので、奮っ
てご参加ください。
なおこの制度は、組合員各社
様も活用可能です。来春も募集
があると聞いていますので、ぜ
ひご活用ください!

わが社をPR

丸与商事株式会社

“和を以て”挑み続けます

わが社の基本理念は、ファッションを通じて世の女性たち
が潤いのある生活を送るお手伝いをする。取り扱い商品
は大きく和と洋にわかれ、加賀友禅、牛首袖については産元で
もあります。約100年前に白生地商として創業し、加賀友禅、
牛首袖、婦人アパレル、宝石・寝具と、時代の変遷とともに新し
いアイテムに取り組んできましたが、一貫して扱ってきたの
は嗜好性の高い商品です。中でも着物については、生活様式
の変化で日常から遠い贅沢なものになってしまいました。これ
を和の文化として未来永劫伝えていくためには、強い使命感
と今まで以上の挑戦が必要です。

ただ、どんなに素晴らしい人間でも1人の力には限界があ
り、個々人が蓄積に努め、いい意味でのライバル心を持ちなが
ら同じ目的に向かって協力すれば力は倍増するはず。社
訓に「和を以て貴しとなす」とあるように、全員で一体感
を持った挑戦を続けたい、生き残っていかねば。価値観もス
ピード感も全く違う洋と和の世界ですが、洋の視点を和に、和
の視点を洋に活かすことはできる。それもまた挑戦です。

俗な言葉かもしれませんが、挑戦する意欲が
なくなったらそこで終わり。挑戦して失敗し
て、そこから学ぶ。その繰り返しです。

加賀友禅を未来永劫 伝えるのが使命

戦後、のめり込むようにして加賀友禅の
復興に挑んだのは初代社長の吉野省吾氏で
す。そして、「着物は時代に逆行している」と
も言われる今、加賀友禅を扱い続けること
は、まさに挑戦と言えるでしょう。

精緻な仕事の積み重ねで作られる加賀友
禅のどこか一つでも手を抜けば、その価値
はなくなってしまいます。一方、職人さんの
高齢化や後継者不足など様々な問題がある
ことも現実で、手薄になった部分をどう補
うか考えていかないと、いずれなくなっ
てしまいます。でも、なくすわけにはいか
ないです!かっこいい言い方をすれば、産元として



この美しい加賀友禅を
なくすわけにはいかない
(毎田健治氏作)。

の社会的使命、立ち位置を忘れてはいけません。
最近では、着物を着る場や機会を提供するよう
な企画が増えてきました。私たちの業界でも、そ
んな視点を見習いながら、加賀友禅にふさわ
しい艶のある試みをしていかねば!



代表取締役社長 住田 敏

今、うちの会社があるのは、先人たちの挑戦
の結果。そして、これからも挑戦を続けてい
けるのは、社員をはじめまわりの皆さんの
協力のおかげ...感謝しかありません。